

日本弁護士連合会 主催

弁護士に会ってみよう！ 夏休みWEB特別企画

- ・要事前
申込み
- ・参加費
無料

個人・グループともに応募が可能です

弁護士という進路に関心のある
高校生、大学生のみなさん！
ウェブミーティングで
弁護士に会ってみませんか？

弁護士になる
には？

弁護士の仕事
内容は？

弁護士になって
よかったことは？

日程

2020年8月19日、8月20日、8月21日
※詳細は裏面をご確認ください。

所要時間

1時間程度

方法

Zoomによるウェブミーティング

講師

若手弁護士数名

お問合せ先

日本弁護士連合会法制部法制第一課

TEL 03-3580-9958 E-Mail houka@nichibenren.or.jp

弁護士に会ってみよう！ 夏休みWEB特別企画

応募の詳細

・開催日程

2020年8月19日(水) 15時30分～16時30分
8月20日(木) 14時30分～15時30分
8月21日(金) 15時～16時

※要事前申込み。

お申込みは、**8月3日(月)**までをお願いいたします。
また、申込状況によっては、ご希望に添えない場合がございます。

・対象

高校生、大学生等 ※個人・グループともにお申込みいただけます。

・内容

- 1 弁護士の仕事
(弁護士の一般的な仕事、弁護士の生活と人生、やりがいなど)
- 2 広がる弁護士の活躍の場
(弁護士の業務分野や職場の広がりなどの紹介など)
- 3 弁護士になるには
(どうして弁護士を目指そうと思ったのか、弁護士になるための具体的な方法、勉強の内容、時間的・経済的コストなど)
- 4 その他、弁護士に聞いてみたいこと など



・お申込み方法

下記URL又はバーコードからアクセスいただき、
フォームからお申込みください。

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/2020natsuyasumi/meet/>

・開催方法

Zoomによるウェブミーティング

※Zoomアプリを事前にインストールした上で、
申し込まれた方に別途案内する参加方法を御確認の上参加してください。

お問合せ先：日本弁護士連合会法制部法制第一課

TEL:03-3580-9958 / E-mail:houka@nichibenren.or.jp

法学部へ行こう！！

キャリア教育イベント

「法学部」 へ行こう！！



令和2年7月10日、「法学部へ行こう！！@米子東高校！」のイベントを実施しました。

1 イベントの目的

本イベントは、高校生の皆さんにとって、大学見学や公式の資料だけではイメージを持つことが難しい、法学部での大学生活やその後の進路について、7名の弁護士がそれぞれの実体験をお話することで、具体的なイメージを持っていただくことを目的として実施しました。



◎ 法学部での学習で使う教科書などの関連書籍を、入り口で紹介しました。

2 イベントの内容

第1部では、①法学部で取り扱う科目とは？ ②法学部ってどんなところ？ ③法科大学院ってどんなところ？ ④司法試験合格！「司法修習」っていったい何？ ⑤弁護士になった！仕事の魅力と苦勞とは？ ⑥法律家になるための新制度とは？（「3+2」について）の6つのテーマで、各講師がミニ講義を行いました。

第2部では、森祥平弁護士をコーディネーターとして、各パネリストが、①法学部の生活について、②弁護士の仕事の楽しさや苦勞、③高校生の今と社会人としての将来へのつながりについて、対話形式でディスカッションを行いました。

3 アンケート結果について

イベント終了後、参加した生徒さんにアンケートにご協力いただきました。そのうちのいくつかをご紹介します。



「『法学部は弁護士、裁判官、検察官だけではない』という事実に、一番、衝撃を受けました。来て良かったです！法学部では、社会のあり方などを学べるというのも納得しました。今、1年生なので、これから自分の後悔のない道を進めるように、選択ができるようにしたいです。」（1年生）



「法学部のイメージが『六法全書を覚える』だったけど、ガラッと変わりました。法律を基にして考察していくという学びに興味が高まりました。実際に現場で働いておられる方のお話を聞いて、社会で働くことの楽しさや大変さなどがわかりました。」（2年生）



「小さい頃に見たドラマの影響で法曹の仕事につきたいと思っていたので、今日のお話はとてもためになりました。法学部に行きたいという漠然とした夢は持っていましたが、今日のお話を聞いて学生生活をよりリアルに思い浮かべることができました。ありがとうございました。」（3年生）



「自分は理系志望ですが、興味があったのでこのイベントに参加しました。今まで弁護士さんのお話を直接聞くということはなく、初めてだったのですが、先生方の話し方や表情を見て、本当にお仕事にやりがいや楽しさを感じていらっしゃるのだなと思いました。そして（法学部に進学するまで）理系を選択された方もいらっしゃるという点には驚くとともに、そのような道もあると分かりました。」（1年生）



「私はまだどの学科へいくのか決めていないのですが、勉強だけではなく、遊びやバイト、部活など、様々なことから学ぶことがたくさんあると思うので、自主的にいろいろなチャレンジをしていきたいと思っています。」（1年生）



「弁護士と大きくと今までは難しそうなイメージでしたが、お話をきいて実際やっている内容の根本は、他の仕事と同じで人を助けるところだと思いました。また言葉と事実を使って人を説得することも楽しそうだと思いました。」（2年生）



「弁護士という職業に対するイメージが明るいものになりました。心から相手を助けたいという気持ちを皆さんが持っていて、かっこいいと思いました。」（3年生）





4 パネリスト・コーディネーターからのコメント

» 続きを読む

法学部へ行こう！！（コメント）

パネリスト・コーディネーターからのコメント

参加して下さった皆様、ご協力いただいた学校関係者の皆様、ありがとうございました。
1つの学部紹介に関するイベントに、多くのご参加をいただいたことから、現役高校生の進路や受験に対する「本気」を感じ、私自身、全力でこのイベントに取り組みさせていただきました。
「心から相手を助けたいという気持ちを持っていて、かっこいいと思った」という感想を拝見し、いただいた感想に恥じない弁護士にならなければと身の引き締まる思いです。



磯部紗希
パネリスト

この企画に参加させてもらったことで、自分自身の高校生当時のことから現在までのことを振り返る良いきっかけとなりました。ありがとうございました。
アンケートへの回答を拝見したところ、参加された方の中には、自分には無理そうだなと思ってしまった方もおられるようです。自分も、高校生、大学生、大学院生、司法修習生と、それぞれの頃に様々な不安や悩みがありました。進路について悩んだこともその一つです。ただ、振り返ってみて思うのは、無理そうだという漠然とした印象だけで決めつけるのではなく、とりあえず始めてみて良かったということです。始めてみないと、その先どうなるのか分かりませんし、何事も、いずれは無くしてはならない経験に変わっていると思います。



山崎 優
パネリスト

当日は多くの方々にご参加いただきありがとうございました。
今回のイベントをきっかけとして、法学部や法律家について少しでも興味を持ってもらえたら幸いです。
イベントのあとに質問に来ることはやや勇気が必要で、弁護士に聞きたくても聞けなかったという方もおられると思いますが、困っている人の力になるのが弁護士の仕事ですので、進路や勉強、課題のことなど、いつでも相談してもらえたらと思います。



百毛公平
パネリスト

思っていた以上にたくさん集まってくださり、大変ありがたかったです。

私が高校生だったとき、進路を決めなさいと言われてとても戸惑いました。将来やりたいことを明確に持っていなかったのもありましたが、自分の前にどういう道が開けているのかについて、あまり情報を持っていなかったからかもしれません。

当時の私のように戸惑っている生徒さんは、今も多くおられるのではないのでしょうか。そのような方も含め、参加して下さった生徒さんがこれからご自身の進路を考えていく上で、本イベントが何かの参考材料になっていれば幸いです。



清水奈月
パネリスト

アンケート結果を拝見したところ、本イベントを経て、多くの方々が法学部のイメージ及び進学意欲を持ってたとのことであり、本イベントを実施した意義を実感しております。

私自身、高校時代には将来の進路を決断できないまま法学部へ進学しましたが、大学進学後、周りに高い意識・意欲を持った友人がいた影響で、司法試験を合格するまでの意欲を保つことが出来、現在があるのだと思います。

少しばかりのイメージ・意欲がなくても、良い環境に身を置けば、本当にやりたいことが自ずと分かってくるのかもしれない。本イベントを視聴し、少しでも法学部、そして弁護士への憧れを持たれたのであれば、「法学部」へ行こう！！



濱田卓志
パネリスト

予想以上に参加者が多く、イベント終了後も、個別質問に来てくださるなど、熱心に聞いていただき、ありがとうございました。

自分の体験をお話することで、少しでも法学部へのイメージを持つ手助けになっていれば幸いです。

高校生のうちにやれることはたくさんあります。大学生になると、できることが更に増えます。勉強や仕事に役立つかどうかに関わらず、学生のうちに、興味のあることにどんどん挑戦していくことは、きっと将来の自分の引出しを増やしてくれたり、自信につながったりすると思います。



森永有紀
パネリスト

今回、とてもうれしかったのは、理系の生徒を含め、法学部への進学を考えていない生徒のみなさんも、視野を広げるためや大学生活をイメージするために参加していただいたことです。専門外のことから学び、今後の自分に活かす姿勢は、社会人に求められる学びの姿勢そのものだと思います。

新型コロナウイルスの終息はみえず、未来が不確実に感じられる時代だと思いますが、強く幅広い好奇心を備えた高校生が鳥取県内に数多くいらっしゃることは、とても前向きに感じました。法学部に限らず広く社会に触れて、意欲をもって、高校以降のステップに進んでほしいと思います。その一助になれたならば、何よりもうれしいです。



森 祥平
コーディネーター